

QSC社 Q-SYS Core対応コントローラー取扱説明書

本マニュアルは、Q-SYS Coreをコントロールするためのマニュアルです。

IPアドレスについて(必ずお読みください)

本機のIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。

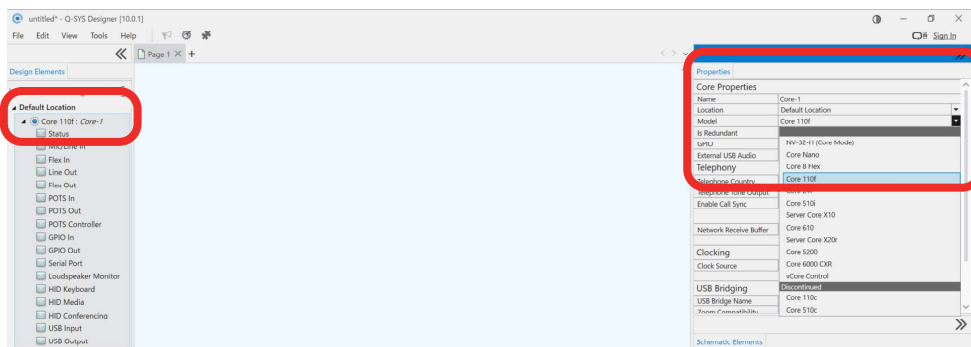
初期設定でIPアドレス192.168.0.100に設定したQ-SYS Coreをコントロールすることができます。

本機のIPアドレスは、Webブラウザに本機のIPアドレスを入力してWebUIにアクセスし、ネットワーク設定ページより変更できます。

本機のIPアドレスを変更する場合や、コントロール先の機器のIPアドレスを変更した場合は「WebUI設定画面 取扱説明書」を参照して、必ずネットワークの設定を行ってください。

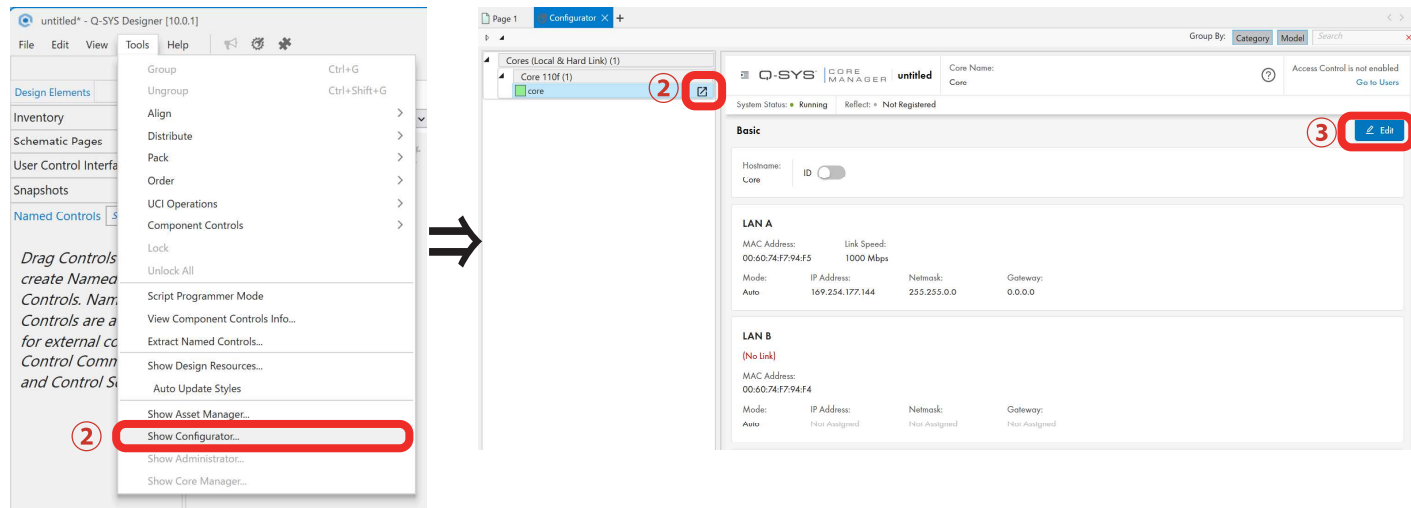
■接続するQ-SYS Coreの設定(制御機種の選択とIPアドレスの設定)

①Q-SYS Designer Softwareを開きます。「Default Location」からCoreを選択し、制御する「Model」を選択し、任意の名前を付けてください。Name欄に表示される初期設定を使用する場合、変更の必要はありません。



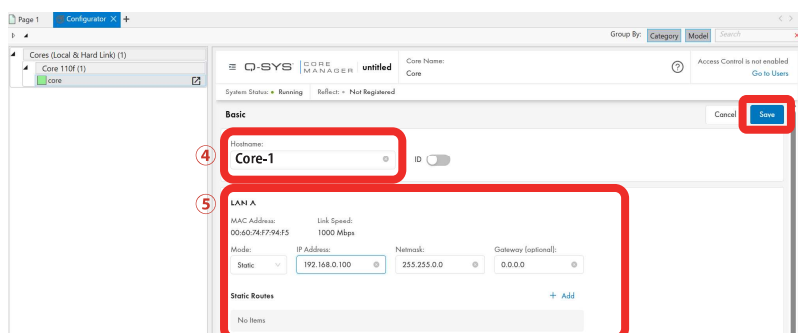
②メニューバーから「Tools」―「Show Configurator」を開きます。
表示された「Cores (Local & Hard Link)」一覧からコントロールしたいQ-SYS Coreを選択します。

③基本設定の編集をするため、「Edit」ボタンを押してください。



④「Hostname」欄に制御するCoreの名前を入力します。
①で確認した「Name」と同じ名前を入力してください。

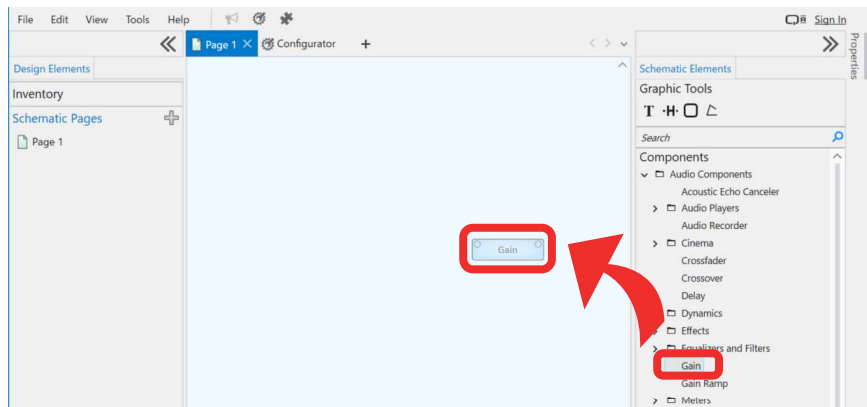
⑤続いて、制御するCoreのIPアドレスを設定します。
フェーダーを接続したいLAN Port欄で、下記の設定を入力してください。
画像は、LAN Aにフェーダーを接続する場合の例です。
LAN AのMode : Staticに変更
IP Address : 192.168.0.100
Netmask : 255.255.255.0
Gateway(optional) : 0.0.0.0



入力が完了したら、右上の「Save」ボタンを押して、設定を保存します。

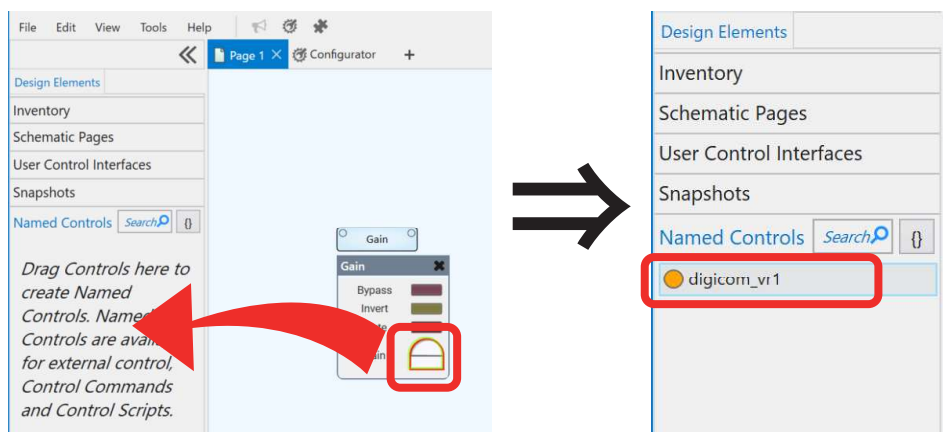
■フェーダーをアサインする

①「Schematic Elements」－「Components」－「Audio Components」－「Gain」を選択し、「Schematic」ウインドウの「Page1」へドラッグアンドドロップします。



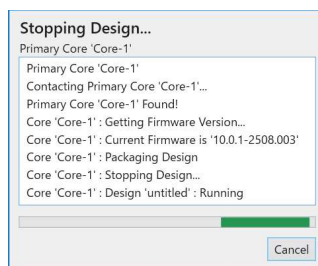
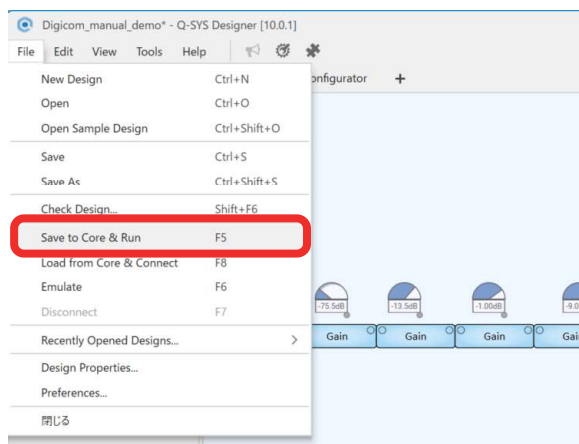
②追加した「Gain」をダブルクリックしてステータスを表示し、「Named Controls」アイコンを「Named Controls」にドラッグアンドドロップします。

「Named Controls」一覧に追加されたら、対応するコントローラーにあわせて、以下の表を参考に登録名を変更してください。
例)「digicom_vr1」はフェーダーの1chになり、「digicom_vr2」はフェーダーの2chになります。
※「Named Controls」では同一の名前を使用できませんので、ご注意ください。



操作子:	フェーダー	スイッチ	エンコーダー	エンコーダースイッチ
登録名:	digicom_vr1	digicom_sw1	digicom_enc1	digicom_encsw1

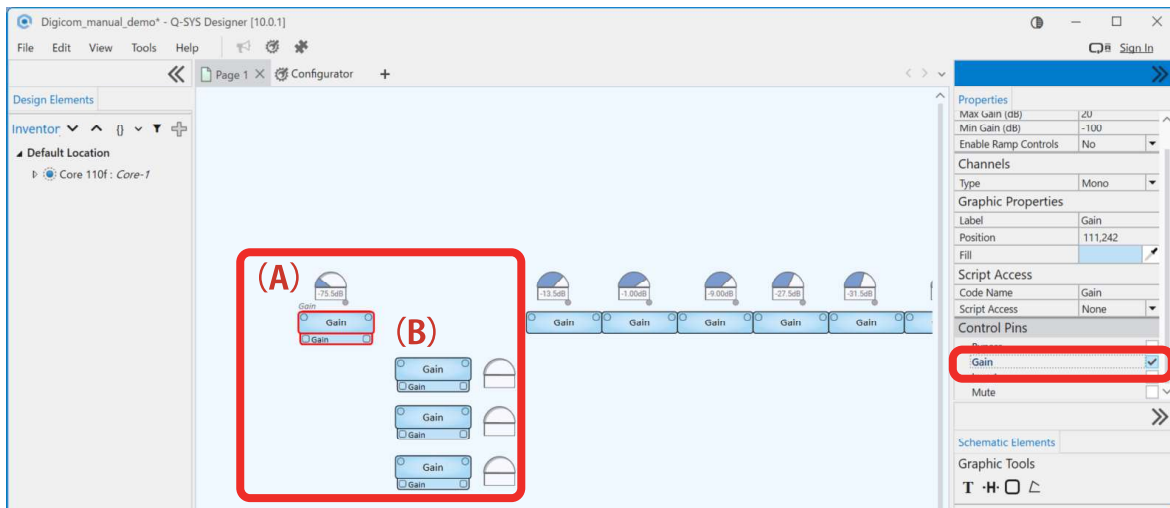
③同様に、コントロールしたいフェーダーの数だけ「Gain」を追加し、それぞれに名前を付けてください。
すべてのアサインが完了したら、「File」－「Save to Core & Run」を選択して、作成したDesignerデータをQ-SYS Coreと同期します。
同期が完了すると、アサインしたフェーダーでGainが動作します。



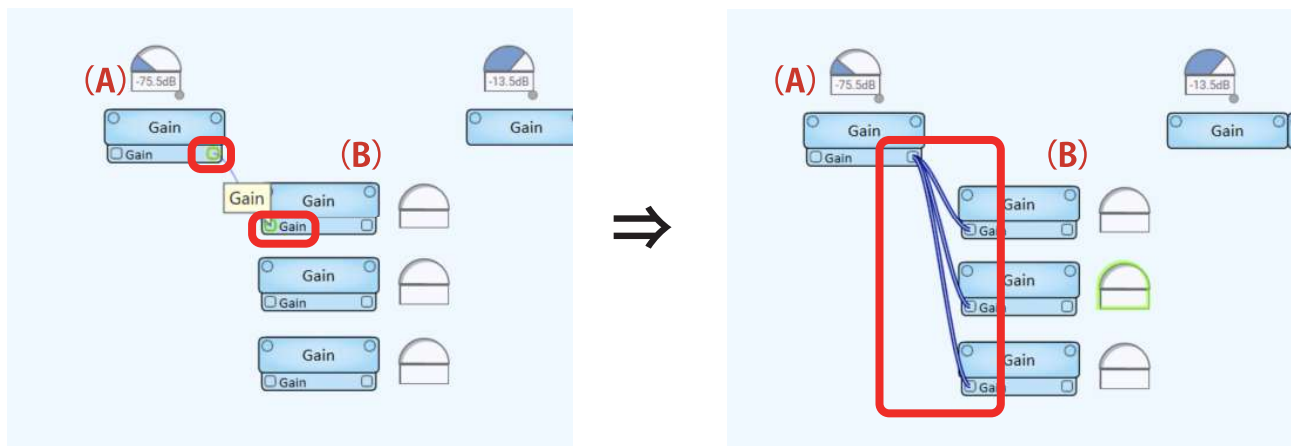
■1本のフェーダーで、複数のGainをまとめてコントロールする

1つの「Gain」(A) で、複数の「Gain」(B) を同時にコントロールすることができます。

①操作対象となる「Gain」を選択し、「Control Pins」内の「Gain」にチェックを入れて表示します。



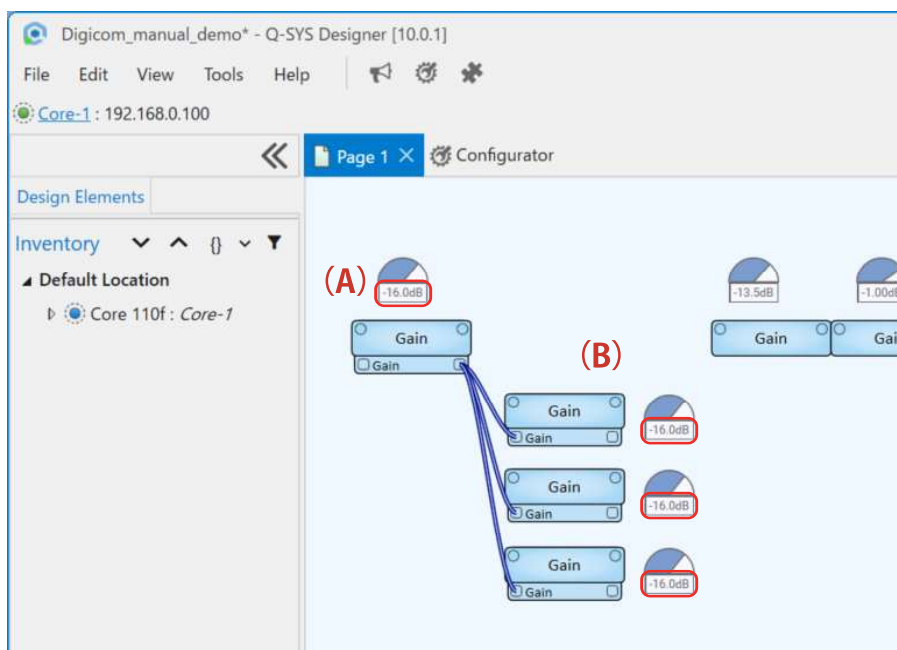
②「Gain」(A) のOutput (右側の○) から、コントロールしたい複数の「Gain」(B) のInput (左側の○) ヘドラッグアンドドロップで接続します。



③「Gain」(A) にコントローラーのch1をアサインします。

例) Named Controlsで「digicom_vr1」をアサインすると、フェーダーのch1で、3つの「Gain」(B) を操作できます。

アサインが完了したら、「File」→「Save to Core & Run」を選択して、作成したDesignerデータを Q-SYS Coreと同期します。同期が完了すると、1つのフェーダーで複数のGainが動作するようになります。



DIPスイッチの設定について



チャンネルアサイン設定やその他の機能を切り替えます。

全機種共通の機能

- ・1,2,3番 : PresetのNoを選択します。
- ・4番 : 使用しません。
- ・5番 : この機種ではシーンリコールに対応していません。
- ・6番 : 1～3番で選択したPresetについて、工場出荷時の設定値を使用するか、WebUIの設定でユーザーが書き換えた設定を使用するかを切り替えます。
ON:フリーアサイン(ユーザーが書き換えた設定を適用)
OFF:固定アサイン(工場出荷時の設定値を適用)

本機のDIPスイッチ1～3番の組み合わせにより、コントロールするパラメーターのNamed Controlsが異なります。
詳しくはPreset一覧でご確認ください。

※1台のデバイスに対して本機を複数台接続する場合は、各本機のDIPスイッチ設定でアサインするチャンネルが重複しないようにしてください。

DIPスイッチ Preset一覧

ご使用になりたいチャンネルアサインにあわせて、DIPスイッチの設定を変更してください。

※色付きのセルは、フェーダーボリュームの上限値が+6dBに設定されているチャンネルです。

4chモデル

PRESET番号	PRESET 1	PRESET 2	PRESET 3	PRESET 4	PRESET 5	PRESET 6	PRESET 7	PRESET 8
DIP設定								
1ch	1	5	9	13	1	5	9	13
2ch	2	6	10	14	2	6	10	14
3ch	3	7	11	15	3	7	11	15
4ch	4	8	12	16	4	8	12	16

8chモデル

PRESET番号	PRESET 1	PRESET 2	PRESET 3	PRESET 4	PRESET 5	PRESET 6	PRESET 7	PRESET 8
DIP設定								
1ch	1	9	17	25	1	9	17	25
2ch	2	10	18	26	2	10	18	26
3ch	3	11	19	27	3	11	19	27
4ch	4	12	20	28	4	12	20	28
5ch	5	13	21	29	5	13	21	29
6ch	6	14	22	30	6	14	22	30
7ch	7	15	23	31	7	15	23	31
8ch	8	16	24	32	8	16	24	32

12chモデル

PRESET番号	PRESET 1	PRESET 2	PRESET 3	PRESET 4	PRESET 5	PRESET 6	PRESET 7	PRESET 8
DIP設定	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6
1ch	1	13	25	37	1	13	25	37
2ch	2	14	26	38	2	14	26	38
3ch	3	15	27	39	3	15	27	39
4ch	4	16	28	40	4	16	28	40
5ch	5	17	29	41	5	17	29	41
6ch	6	18	30	42	6	18	30	42
7ch	7	19	31	43	7	19	31	43
8ch	8	20	32	44	8	20	32	44
9ch	9	21	33	45	9	21	33	45
10ch	10	22	34	46	10	22	34	46
11ch	11	23	35	47	11	23	35	47
12ch	12	24	36	48	12	24	36	48

16chモデル

PRESET番号	PRESET 1	PRESET 2	PRESET 3	PRESET 4	PRESET 5	PRESET 6	PRESET 7	PRESET 8
DIP設定	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6
1ch	1	17	33	49	1	17	33	49
2ch	2	18	34	50	2	18	34	50
3ch	3	19	35	51	3	19	35	51
4ch	4	20	36	52	4	20	36	52
5ch	5	21	37	53	5	21	37	53
6ch	6	22	38	54	6	22	38	54
7ch	7	23	39	55	7	23	39	55
8ch	8	24	40	56	8	24	40	56
9ch	9	25	41	57	9	25	41	57
10ch	10	26	42	58	10	26	42	58
11ch	11	27	43	59	11	27	43	59
12ch	12	28	44	60	12	28	44	60
13ch	13	29	45	61	13	29	45	61
14ch	14	30	46	62	14	30	46	62
15ch	15	31	47	63	15	31	47	63
16ch	16	32	48	64	16	32	48	64

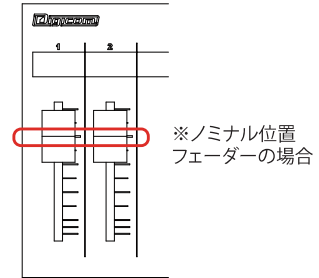
24chモデル

PRESET番号	PRESET 1	PRESET 2	PRESET 3	PRESET 4	PRESET 5	PRESET 6	PRESET 7	PRESET 8
DIP設定	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6	 1 2 3 4 5 6
1ch	1	25	49	73	1	25	49	73
2ch	2	26	50	74	2	26	50	74
3ch	3	27	51	75	3	27	51	75
4ch	4	28	52	76	4	28	52	76
5ch	5	29	53	77	5	29	53	77
6ch	6	30	54	78	6	30	54	78
7ch	7	31	55	79	7	31	55	79
8ch	8	32	56	80	8	32	56	80
9ch	9	33	57	81	9	33	57	81
10ch	10	34	58	82	10	34	58	82
11ch	11	35	59	83	11	35	59	83
12ch	12	36	60	84	12	36	60	84
13ch	13	37	61	85	13	37	61	85
14ch	14	38	62	86	14	38	62	86
15ch	15	39	63	87	15	39	63	87
16ch	16	40	64	88	16	40	64	88
17ch	17	41	65	89	17	41	65	89
18ch	18	42	66	90	18	42	66	90
19ch	19	43	67	91	19	43	67	91
20ch	20	44	68	92	20	44	68	92
21ch	21	45	69	93	21	45	69	93
22ch	22	46	70	94	22	46	70	94
23ch	23	47	71	95	23	47	71	95
24ch	24	48	72	96	24	48	72	96

Volumeの可動範囲 (Min/Max) の設定について

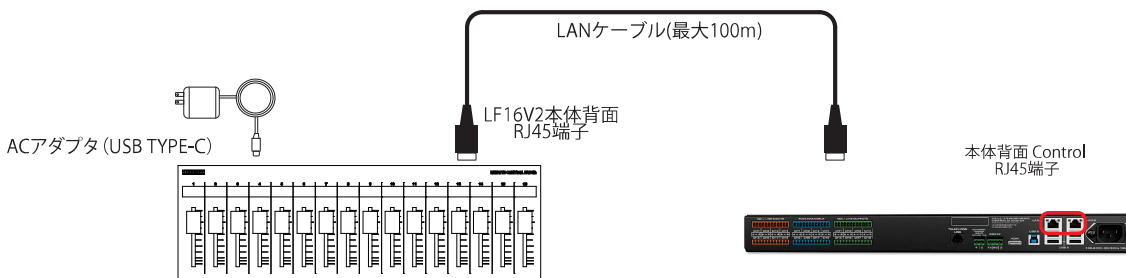
本機のWebUI設定画面では、操作子(フェーダー等)の可動範囲を「Min」「Max」という項目で設定できます。

フェーダーの場合、右図の赤丸で示した位置が本製品の「ノミナル位置(0dB)」にあたります。
可動範囲は、このノミナル位置を基準に計算されます。
例:Maxを+6にすると、ノミナル位置から上限までの範囲が0～+6dBになります。
例:Minを-30にすると、下限からノミナル位置までの範囲が-30～0dBになります。
このため、Maxには0より大きい値、Minには0より小さい値のみ設定できます。

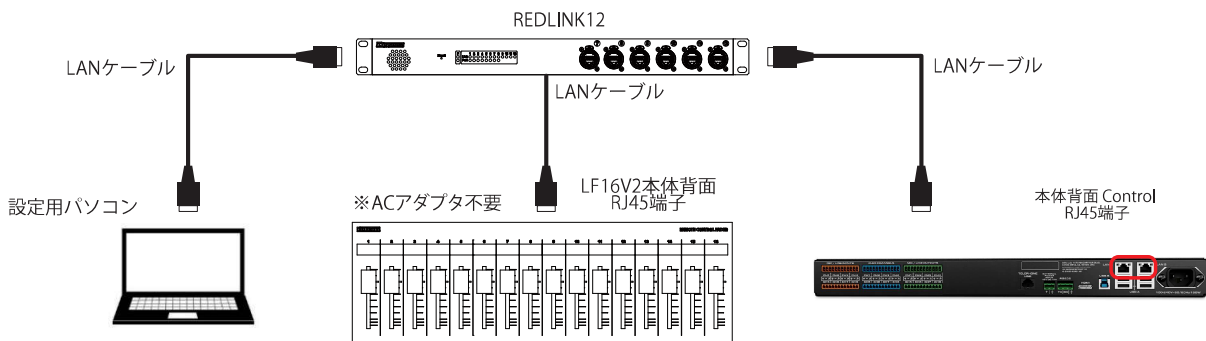


接続方法

■基本接続



■PoE対応スイッチングハブを使用した基本接続



■商品に関する注意事項

持ち運ぶ際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保証に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されておりますので、保証書は添付されておられません。
万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社Digicom

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15
TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386
E-Mail:info@e-digicom.co.jp
http://e-digicom.co.jp/

初版 :2026年9月